

マテリオンジャパンの国内商権 大和合金が一部取得 ベリリウム銅合金棒線・管など

製品を製造。新たな顧客基盤に現有の自社製品を拡販するなどして、シナジーを発揮したい考えだ。

対象となる製品は一般のベリリウム銅合金に加えて快削性ベリリウム銅合金のM25な

製造した製品を数社で航空機部品や半導体関連など多岐にわたるが、光海底ケーブル関連の商権は対象外となるもようだ。

マテリオンブラッシュ・ジャパンは現在親会社の米マテリオンが

製造した製品を日本などで販売している。グループ全体で進めている物流最適化の一環として、5月に棒線の在庫などを行っている埼玉県の深谷工場を閉鎖する予定。細やかな供給体制を維持するため大和合金への商権引き継ぎを決めた。同社の佐藤社長は「これまで大和合金とは原材料の販売などで長期の取引があり、顧客対応に信頼感があるので引き継ぎをお願いした」としている。

大和合金では自社製の現有製品とのシナジー創出に加え「代替材料へのシフトによるベリリウム銅合金市場の縮小を抑えることが重要と考えた」(萩野社長)ため商権の引き受けを決めた。

銅合金の鑄造・鍛造品メーカーである大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)はこのほど、マテリオンブラッシュ・ジャパン(本社・東京都千代田区、社長・佐藤一彦氏)からベリリウム銅合金の棒線や管などの国内商権を取得した。マテリオン側からの要請があり4月から顧客を引き継ぐ。大和合金ではベリリウム銅に加えクロム銅やアルミ青銅などの幅広い